

だいろくじかわごえしこくさいかきほんけいかく
第六次川越市国際化基本計画 げんあん
原案

(れいわ ねんど れいわ ねんど
令和8年度～令和12年度)

すべての 市民が かがやく 多文化共生の まちづくり

【概要版 (やさしい日本語)】

かわ 川 ごえ 越 し 市

■ 計画の概要

| | |
|--------|--|
| 位置づけ | この計画は、川越市の一一番大切な計画（第五次川越市総合計画）に基づいて作られた計画です。川越市が国際的になること（国際化）や、いろいろな文化を持つ人が一緒に暮らすこと（多文化共生）のために、必要な取り組みをこの計画に沿って進めます。 |
| 期間 | 2026年度から2030年度までの5年間 |
| 基本の考え方 | 全ての市民がかがやく多文化共生のまちづくり |

■ 川越市に住んでいる外国籍市民の状況

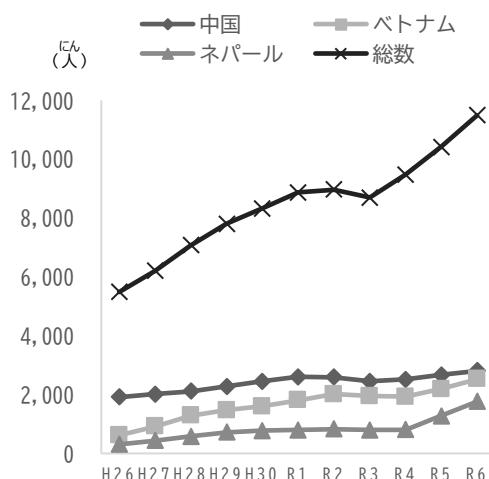
川越市には、2025年3月の終わりに、11,491人の外国籍市民が住んでいます。これは、川越市に住んでいる約30人の中で1人が外国籍市民ということです。

2027年4月に「育成就労制度」という新しい制度が始まるため、外国籍市民はもっと増えると考えられます。

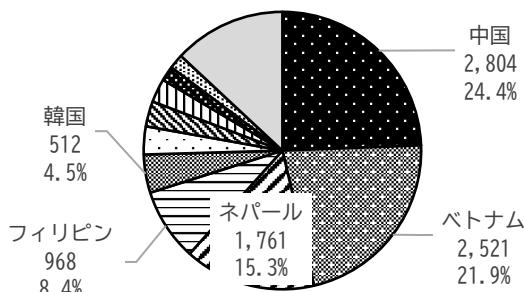
| | |
|----------|----------|
| 川越市の人口 | 352,673人 |
| 外国籍市民の数 | 11,491人 |
| 外国籍市民の割合 | 3.26% |

川越市には、80の国の人があります。中国、ベトナム、ネパール、フィリピン、韓国など、アジアの国の人が多いです。

【川越市の外国籍市民数の変化】



【川越市の外国籍市民の国籍の割合】



■ 計画の 目標と 内容

計画には 4つの 基本の 目標が あります。

| 目標 | やること | 主な 取り組み |
|--|---|--|
| がいこくせきしみん 外国籍市民への 支援の 充実 | コミュニケーション の サポート | <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国籍市民のための 相談会を します。 ・ 日本語教室を 開きます。 (事業が 10個 あります。) |
| | がいこくせきしみん 外国籍市民の 生活の サポート | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校に 入るための 情報を、やさしい日本語 や 外国の 言葉で 伝えます。 ・ 外国籍市民が 災害から 身を 守るための 準備を します。 (事業が 12個 あります。) |
| がいこくせきしみん 外国籍市民にも 暮らしやすい まちづくり | しゃかい 社会に 参加する ための サポート | <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国籍市民を 委員とする 会議を 開いて 外国籍市民の 意見や 考えを 市の 取り組みに いかします。 (事業が 5個 あります。) |
| | いろいろな 文化の 人が 交流する 場所を 作る | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流や 多文化共生に 関係する 市民の 団体を サポートします。 (事業が 3個 あります。) |
| たぶんかきょうせいいしき 多文化共生意識を も 持った 市民の 育成 | たいせつ 大切だと き 気づいてもらう、 ひと 人を 育てる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多文化共生の 講座を 開きます。 ・ 外国籍市民に 日本語を 教える ボランティアの 人を 育てます。 (事業が 5個あります。) |
| しまい 姉妹・友好都市 交流などの 充実 | しまい 姉妹・友好都市との 交流事業を 多くする | <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い ひとなどが、お互いの 都市に 行き来する 事業を します。 (事業が 5個 あります。) |

■ 計画を 進めるために 協 力する 人たちと 役割

| 実行する ひと | 役割 (大切な こと) |
|------------|---|
| 市民 | いろいろな 文化を 大切にして、お互いに よく 理解します。 地域で 一緒に 活動します。 |
| 川越市役所 | 計画を みんなに 知らせます。いろいろな 団体と 協 力します。 市役所の 中で 多文化共生の 考えを 広げ、取り組みを 進めます。 |
| ボランティア 団体 | 市と 協 力して 多文化共生に 貢献します。 |
| 教育機関 | <大学> 留学生に 専門的な 教育や 生活の サポートを 行い、 地域で 仕事を する 人を 育てます。 <小学校・中学校・高校> こどもの 状 況に 合わせて、日本語や 教科の 勉強を 教えます。 <日本語学校> 生活や 進学・仕事に 必要な 日本語を 教えます。 |
| 病院・福祉 の 機関 | 言葉や 文化の 違いを よく 考えて 外国籍市民を 受け入れます。 外国籍市民に 向けて 健康や 福祉に 関する 情報を 出します。 |
| 会社 | 外国人の 従業員が 働く 環境を 良くします。 日本語学習など、外国人の 従業員の 生活を サポートします。 |
| 自治会 | 外国籍市民に 自治会に 入ることを 勧めます。 地域の イベントで 外国籍市民と 交流します。 |

■ 計画の 指標 (計画どおり できているかを 測る 数字)

| 指標 | いま の 数字 | もくひょう の 数字 |
|--------------------------|---------|------------|
| 日本語教室に 参加した 人の 数 | 4, 423人 | 5, 000人 |
| 「川越市は 住みやすい」と 答えた 市民の 割合 | 54% | 60% |
| ボランティアとして 活動した 人の 数 | 3, 563人 | 3, 800人 |
| 外国籍市民との 交流が ある 市民の 割合 | 7.3% | 10% |
| 外国の 姉妹都市との 交流事業の 数 | 3.5回 | 4回 |